

令和6年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

美 術

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文は、「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）における芸術科「美術Ⅰ」の目標である。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える①造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、②主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、(ア)をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、(イ)美術を愛好する心情を育むとともに、(ウ)を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

- (1) 文中の(ア)～(ウ)に当てはまる語句を書け。
- (2) 文中の下線部①について、どのような視点のことか説明せよ。
- (3) 文中の下線部②について、どのようなことか簡潔に書け。
- (4) 文中の(1)～(3)の資質・能力について、観点別学習状況の評価を行う際、次の①、②の問いに答えよ。
- ① (1)、(2)の資質・能力を評価するときの評価の観点をそれぞれ書け。
- ② (3)の資質・能力については「主体的に学習に取り組む態度」の観点により評価を行うが、この観点の評価対象となる「態度」とはどのようなものか説明せよ。また、鑑賞活動において評価を行うとき、生徒のどのような姿を評価するか説明せよ。

- 2 次の作品について、(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) この作品の作者名を書け。
- (2) この作品の作者を含む20世紀前半の芸術家たちが、「夢や無意識の世界にこそ、人間の心の奥の真実がある」という考え方の下で起こした芸術運動を何というか答えよ。
- (3) 「想像の世界」を題材とした「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）における芸術科「美術Ⅰ」A表現(1)絵画・彫刻の学習において、生徒の発想や構想を広げるための具体的な手立てを2つ答えよ。

3 次の A～G の作品は、すべてパブロ・ピカソの作品である。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

A

B

C

D

E

F

G

- (1) A～G の作品を、C を起点として制作年順に並べよ。
- (2) A の作品の手法を何というか。また、その手法を生徒にどのように説明するか答えよ。
- (3) G の作品は、実在する都市の名が題名となっている。その都市名と国名を答えよ。
- (4) G の作品の大きさはおよそどれくらいか、当てはまるものを以下のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 55cm×120cm

イ 140cm×240cm

ウ 270cm×460cm

エ 350cm×780cm

オ 510cm×1140cm

4 「高等学校学習指導要領」(平成 30 年 3 月告示)における芸術科「美術 I」A 表現(3)映像メディア表現の学習において、動画を制作する題材を設定したい。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 編集・合成・加工の場面において、ICT 機器を活用する利点と活動例を具体的に答えよ。
- (2) 作品制作の素材として、生徒が他者の著作物を活用する場面が想定される。この場合、生徒が創造することの価値を理解できるよう、どのようなことに留意して指導するか書け。

5 次の(1)～(4)の作品の作者を後のA～Gから選び、記号で答えなさい。また、それぞれの作者に係る説明として適切なものを後のア～エから選び、記号で答えなさい。

(1)

(2)

(4)

(3)

A 戸谷成雄	B 舟越保武	C コンスタンティン・ブランクーシ	
D ヘンリー・ムーア	E ジェフ・クーンズ	F アンソニー・カロ	G イサム・ノグチ

ア 1960年代に発表した鉄板や鉄骨を溶接して構成し、赤、青、黄色などの原色を彩色した抽象彫刻は、現代美術の新しい領域を切り開いた。80年代には彫刻に建築的要素を加えた作品を生み出した。

イ 原始彫刻や未開彫刻の影響を大きく受け、特に関心を寄せたのはメキシコの先コロンブス期の石彫で、それが作者の出発点となった。

ウ 非常に形の要素を切り詰めた、一見してミニマルな作風を持つが、決して対象から遊離したものではなく、逆に対象の本質を捉えている。

エ 彫刻作品以外にも公園などにスケールの大きな作品を残す一方、家具や照明のインテリア、舞台美術まで幅広い活動を行った。

6 次の説明文を読み、後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

1919年、ドイツにおいて「芸術と技術の統合」の理念のもと、理論と実践を一体化させた造形教育を目指し、総合的な造形学校（ ）が設立された。1933年に閉鎖されたが、その理念は後のモダンデザインの形成に大きな影響を与えた。

(1) 文中の空欄に当てはまる語句を書け。

(2) 下線部について正しく説明したものを次のA～Eから選び、記号で答えよ。

- A 装飾性よりも合理性を理念とした、機能的で無駄のない実用的なデザイン。
- B 植物や動物をモチーフにした、有機的な曲線を用いた装飾的なデザイン。
- C 主に壁紙や家具などのインテリア製品等における、美術と工芸の融合を目指したデザイン。
- D 近代化の中で多様化した芸術活動を「建築」のもとに再編し、新たに生まれたデザイン。
- E 装飾芸術を理念とし、機械による大量生産を否定した、手仕事による工芸的なデザイン。

7 「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)における芸術科「美術I」A表現(1)絵画・彫刻イ(ア)「意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。」について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の①～③の説明を読み、それぞれに当てはまる語句を後のA～Eから選び、記号で答えよ。

- ① 展色剤にアラビアゴムを用いている。グリセリンなどの湿潤剤を加えることで筆運びが滑らかになり、展色剤の割合で隠蔽力が変わる。
- ② リンシード油などの植物性乾性油で顔料を練っている。
- ③ 卵黄が展色剤の役割を果たし、卵のタンパク質と脂質が顔料を包んで画面に定着させる。

A アクリル絵の具 B 水彩絵の具 C フレスコ D 油絵の具 E テンペラ

(2) 水粘土を用いて友人の顔を制作する題材を設定したい。次の①、②の問いに答えよ。

- ① 水粘土の特徴と、生徒が扱う際に注意する点を書け。
- ② 成形した首像を原型とする、石膏作品の型取り方法の手順を説明せよ。

8 次の(1)～(4)は、造形の秩序を生む構成の要素の一部である。それぞれの語句について説明しなさい。また、(1)～(4)を視覚的に理解させるため、生徒に示す際の図案をそれぞれの違いが分かるように任意の図形を用いて描け。

(1) リピテーション (2) リズム (3) シンメトリー (4) アクセント

美術解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
--------	-------	------	--	----	--

(6年)

1

(1)	ア		イ		ウ	
(2)						
(3)						
(4)	①	(1)の観点		(2)の観点		
	②	態度				
		姿				

2

(1)		(2)	
(3)			

3

(1)	C → → → → → →	
(2)	手法	
	説明	
(3)	都市名	国名
(4)		

4

(1)	利点	
	活動例	
(2)		

5

(1)	作者	説明	(2)	作者	説明
(3)	作者	説明	(4)	作者	説明

美術解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名		(6年)
--------	-------	------	--	----	--	------

6

(1)		(2)	
-----	--	-----	--

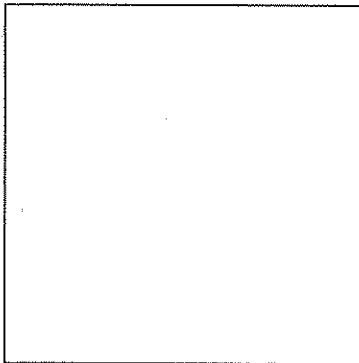
7

(1)	①		②		③	
(2)	①					
	②					

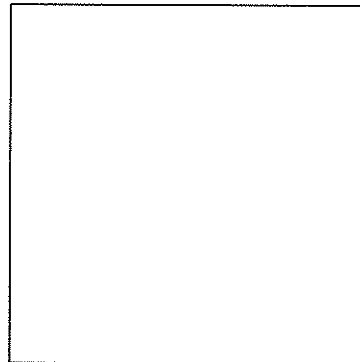
8

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

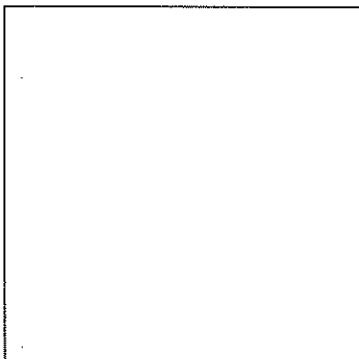
図案 (1)



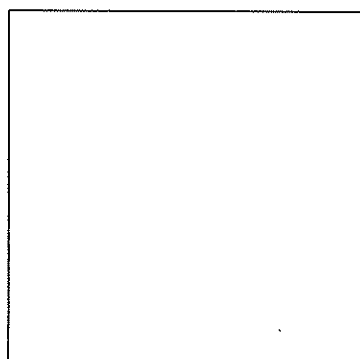
(2)



(3)



(4)



以下はあくまでも解答の一例です。

美術解答用紙	2枚中の1	受験番号	氏名	(6年)
--------	-------	------	----	------

1

(1)	ア	価値意識	イ	生涯にわたり	ウ	感性	各3
(2)	(例) 形や色彩、材料や光などの造形の要素の働きや、造形的な特徴などを基にして心に思い浮かべる像や情景、ある物事について抱く全体の感じといったイメージなどを捉えるために必要となる視点のこと。						6
(3)	(例) 強く表したいことを心の中に思い描くこと。						6
(4)	①	(1)の観点	知識・技能	4	(2)の観点	思考・判断・表現	4
	②	態度	(例) 「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を身に付けようとしたり、発揮しようとしたりすることへ向かう主体的な学習に対する態度のこと。				6
	③	姿	(例) 生徒が主体的に作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めようとしている姿。				6

2

(1)	サルバドール・ダリ	3	(2)	超現実主義 または シュルレアリスム	4	
(3)	(例) 自分が描きたいモチーフを複数選ばせ、形や色を入れ替えたり、大きさや性質を変化させたりしながら、組み合わせの面白さについて考えさせる。					6
	(例) ワークシートに、現実にはあり得ないものや風景をキーワードに発想を広げ、できるだけ多くのアイデアを記入させる。					6

3

(1)	C → E → D → F → A → B → G	6		
(2)	手法 キュビズム	3		
	説明			
	(例) 人物や風景などをさまざまな角度から捉え、それらを一つの画面に統合する手法のこと。		6	
(3)	都市名 ゲルニカ	3	国名 スペイン	3
(4)	エ	3		

4

(1)	利点	(例) ICT 機器による表現は何度でもやり直しができるといった特性があるため、試行を繰り返しながら構想を固めることができる。				6
	活動例	(例) デジタルカメラなどでコマ撮りした画像をコンピュータに取り込み、画像をつなげて映像にし、友達の見聞きながら再撮影や編集を行う活動。				6
(2)	(例) 自己や他者の作品などに表れている創造性を尊重する態度の育成を図るとともに、美術に関する知的財産権や肖像権についても触れるようにする。					6

5

(1)	作者	G	説明	エ	(2)	作者	D	説明	イ
(3)	作者	F	説明	ア	(4)	作者	C	説明	ウ

作者・説明 各3

美術解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
--------	-------	------	--	----	--

(6年)

6

(1)	パウハウス	3	(2)	A	3
-----	-------	---	-----	---	---

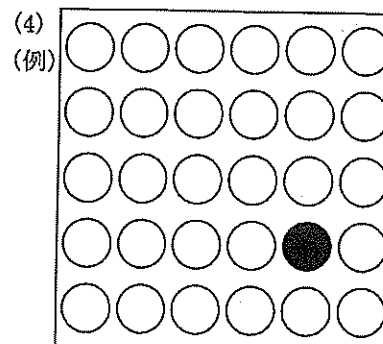
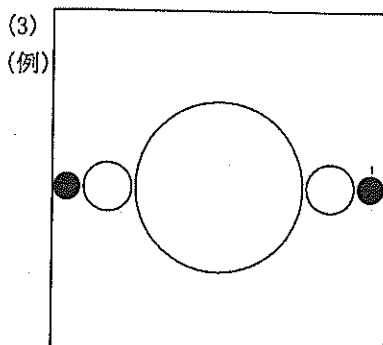
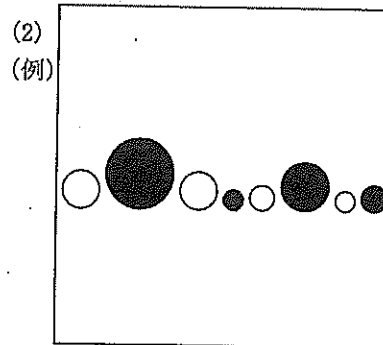
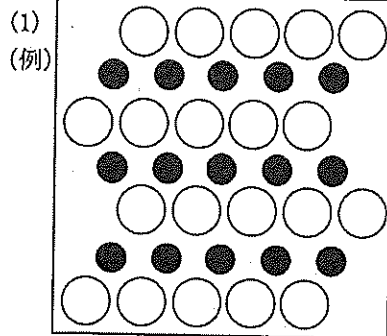
7

(1)	①	B	2	②	D	2	③	E	2
(2)	①	<p>(例) 細かい粒子を水で練り上げた粘土で、乾燥すると固まり、水を加えて練ると柔らかくなる特徴がある。制作中は随時水を吹きかけて乾燥を防ぐとともに、制作途中の作品を保管する際は、濡れた布、ビニールを被せて乾燥させないように注意する。</p>							6
	②	<p>(例) 水粘土で成型した首像の頭部に切り金を挿し埋め、中の粘土をかき出すための取り出し口をつくる。次に石膏を振りかけ、手早く平均に盛りつけ硬化させる。頭部の切り金部を割り出し、蓋をとって粘土をかき出したあと型洗いをを行い、型しめ、乾燥を行う。離型剤を引いたあと、粘土をかき出した内側に石膏を振りかけ、スタッフをつけ内側に平均に貼るなどして補強し、蓋を閉めて硬化させる。次に割り出しを行い、最終的な修正を行って石膏像の完成となる。</p>							12

8

(1)	(例) 同じ形やモチーフを繰り返すと、動きやリズムのある統一感が生まれること。	4
(2)	(例) 形や色が規則性を持って変化すると、動きを感じる。	4
(3)	(例) 左右、上下に同じ形を置くと、バランスのよい安定した調和を感じる。	4
(4)	(例) 配置や面積比、配色によって、一部を強調し、視覚的に引き付ける。	4

図案



各7